


弘泉寺本堂・山門



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	こうせんじほんどう・さんもん
所在地	倉敷市下津井田之浦
指定年月日	平成30年3月27日
解説	<p>弘泉寺は真言宗寺院で、正応年間(1288～1293)に開かれたとされる。本堂は文政10年(1827)に再建、山門は同12年(1829)から建て始められ、どちらにも塩飽大工の手になるものと確認されている。本堂は、入母屋造棧瓦葺き、桁行三間(6.97m)、梁間四間(10.03m)である。周囲には正面と両側面の三方を囲む広縁を設け、正面に一間(3.21m)の向拝を持つ。内部は背面以外すべて開口部となる吹きさらしの構造である。来迎柱、来迎壁の塗装及び折上げ格天井に描かれた彩画には優れた装飾技術が見られる。また、臺股や木鼻などは、下津井で多く見られる波形や動植物をモチーフとする洗練された意匠で飾る。山門は、薬医門で境内の東正面に建つ。切妻造本瓦葺きで、両脇にも門口を設けた重厚な門である。柱をつなぐ貫には全体にわたって波を模しているなど、随所に装飾豊かな彫刻が施されている。</p>
アクセス方法	瀬戸中央自動車道「児島IC」より車で5分 JR「児島駅」より車で10分
公開状況	外観のみ
設備	
備考	